

鹿児島大学

奄美群島島めぐり講演会

第4回 in **龍郷町**

生涯学習センターりゅうがく館・多目的室

2019年5月25日(土)

13:30~16:00

13:30~

絶滅危惧種リュウキュウアユの生態について

久米 元 (水産学部)

リュウキュウアユの野生個体群は奄美大島のみ
に生息しており、現在では環境省により絶滅
危惧ⅠA類に指定され、地元の方々に大切に保
護されています。リュウキュウアユが奄美大島
の河川と海でどのように生活しているのか紹介
します。



14:30~

奄美群島の果樹遺伝資源とその利用

山本雅史 (農学部)

奄美群島では固有の在来果樹遺伝資源と海外
から導入された品種が生育・栽培されています。
これらの多くは亜熱帯性気候に適しており、温
帯である日本の他の地域ではあまり見ることの
ないものです。これらの果樹について紹介する
とともに、その保存やそれらを利用した島の活
性化についても考えたいと思います。



問い合わせ先：鹿児島大学 奄美分室 (〒894-0026 奄美市名瀬港町15-1絢会館6階)

Tel 0997-69-4852 amamist@cpi.kagoshima-u.ac.jp

資料等準備のため参加のご連絡をいただくと助かります。

主催 鹿児島大学薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点
整備プロジェクト

共催 奄美群島広域事務組合 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター

後援 奄美自然体験活動推進協議会 龍郷町教育委員会

詳しくは👉



申込不要
参加無料